



# 高齢者の生活をどこまで壊す 4月から保険料 またも引き上げ！

## 導入時からの保険料推移

区分	H20・21年度	H22・23年度	H24・25年度	H26・27年度	H28・29年度
所得割率	7.12%	7.29%	7.29% →	7.43% →	7.93%
均等割額	37,400円	37,400円	37,400円 →	38,700円 →	40,400円

保険料は2年に1度改定され、都道府県ごとに運営される後期高齢者医療広域連合議会で構成され、浦安市から市議会が選出された議員が選出されています。千葉県後期高齢者広域連合議会は県内54市町村議会が選出されています。千葉県後期高齢者医療広域連合議会で決定されますが、選出される後期高齢者医療広域連合議会で決定されます。

香子（公明党）議員が選出され、浦安市から市議会が選出されています。千葉県後期高齢者医療広域連合議会は県内54市町村議会が選出されています。千葉県後期高齢者医療広域連合議会で決定されますが、選出される後期高齢者医療広域連合議会で決定されます。

今回の改定は4回目で、全国の23の広域連合は、高齢者の声と運動を背景に、積み立てている基金は平成26年度改定に続き、またも引き上げです。

後期高齢者医療制度は2008年、社会保障費削減をねらった「構造改革路線」の柱の一つとして導入されました。病気になりがちで医療費がかかることが避けられない75歳以上を一つの制度にまとめ、高齢者人口が増えるたびに入高齢者の負担割合を増加させる制度は“年齢差別”的仕組みです。

「後期医療」保険料が高齢者の暮らしを圧迫しているにもかかわらず、安倍政権は1年度から「保険料軽減措置」の段階的廃止を強行しようとしています。

高齢者を大切にしない政治ができる未来を保障できるはずがないません。



# 年平均保険料 69812円

75歳以上のすべての高齢者が加入する「後期高齢者医療制度保険料」が4月から引き上げられました。3月議会に議案として提案された「浦安市後期高齢者医療制度保険料予算」に日本共産党は反対しました。

引き上げ額は一人当たり3.7%、平均年間2489円になります。その結果、平均保険料は年額で69812円になります。

## 基金を活用すれば 引き下げができる！

### 「軽減廃止」逆行やめよ

千葉県後期高齢者広域連合議会の審議の中で、約66億円と見込まれる財政安定化基金を仮に活用すれば、一人当たりの保険料は66310円までに引き下げられること、54億円を取り崩せば保険料を据え置くことができる事が明らかになっています。しかし、広域連合議会では、保険料引き上げ案に共産党議員3人が質問して反対したもの、他の議員は誰も質問すらせず、賛成多数で可決されました。



2016年4月18日  
第1367号

【発行】  
日本共産党  
浦安市議団  
☎&FAX  
350-1243



元木美奈子  
入船4-37-14  
☎355-8526  
minamotonton@jcom.home.ne.jp



市議会議員  
北栄2-3-16-203  
☎354-9269  
m5misse@jcom.home.ne.jp